

このまち
のこころ

学ぶのは野球の
技術だけじゃない
子どもたちの
健全育成にも貢献

「いくぞー！」

グラウンドに大きなかけ声が響き、子どもたちが一斉に駆けだす。

ここ町営下泉グラウンドで練習に励むのは、中川根野球少年団の子どもたちだ。小学4から6年生の選手が中心となって活動するこのクラブ中には2年生からクラブに所属し、汗を流すちびっ子もいる。

事務局の蘭田さんに話を聞いた。

「わたしたち中川根野球少年団には、現在21人の子どもたちが所属しています。毎週土、日曜日の午前中、主に下泉グラウンドで練習しています。大きな大会の前などには、午前・午後通して練習することもある熱心なクラブです。」

シーズン中には練習試合、公式戦

を含めて月に2から3回試合をこなす。また遠方に向いて大きな大会に出場したり、親善大会や交流事業を開催することも多いという。

「町外、県外のチームとの交流もさかんで、他チームと合同でバーベキューを企画することもあります。子どもたちはすぐに打ち解け合い、仲良くなるので、見ているこちらも企画する甲斐があるというものです。保護者の皆さんの理解と協力があったこそですね。」

野球少年団では地域への感謝の心を育てるため年2回、奉仕活動を実施。ゴミ拾いや草むしりなどにも汗を流している。野球だけ上手になることが目的ではないという。

「野球を通じて学ぶのは、技術や知識ばかりではありません。監督やコーチ、上級生に対するあいさつや言葉遣いを正し礼儀を重んじること、グローブやバット、ボールなど用具を大切に扱うこと、グラウンド整備も必ず全員でやるなど、みんなで協力し合うこと。そういった日々の練習の中で培う健全な精神や感謝の心、礼節など、学ぶことは多いと思います。」

試合の時はもちろん、練習でも声をかけ合う。誰かがミスをしたとしても励まし合い、いいプレーにはみんな喜び合う。

「全員野球」をモットーに。子どもたちの元気な声が、今日もグラウンドにこだまする。



共に楽しもう・歓迎イベントを開催

中川根野球少年団では、一緒に野球を楽しむ仲間を募集しています。野球をやりたい、少しでも興味がある、という人は、ぜひお電話ください。下記の日程で勧誘イベントを開催しますので、みんなぜひ遊びに来てください。

日時と場所 2月14日(日) 町営下泉グラウンド
持ち物 グローブ(なくても可)、お椀、お箸
服装 運動ができる服装で ※Tボールの試合を予定
問い合わせ
父母の会会長 石川和久(徳山) ☎(57) 2938
事務局 蘭田正明(梅高) ☎(56) 1105

中川根野球少年団

監督 鈴木彰則(下長尾) ☎(56) 0004 団員21人